

# “In a Bus” or “on a Bus”

白 谷 敦 彦\*

## 0. 序

本論文は I travelled to London in/on a bus のような例文における in a bus と on a bus という表現の用いられ方に違いがあるのか考察する。用いたコーパスは British National Corpus World Edition (以下 BNC と表記。例文の後に括弧付けで示した英数字は BNC の原典文書のファイル名) である。まず on a bus の例文をすべて抽出し、構文や意味、状況がはっきりしない例を除外していき、35 例を検討の対象とした。In a bus の例は少なかったので in the bus の (不定冠詞ではなく定冠詞が用いられている) 例も加えて 40 例を検討の対象とした。適宜、定冠詞の付いている on the bus や in a + “他の乗り物” の用例も参照した。構文や表している意味の違いにより次のように 9 つのグループに分け、それぞれのグループで in と on を比較検討するという手法を採った。

1. “主語 + be 動詞 + in/on+bus” という構文で、人が乗車している状態を表すもの
2. 名詞句と in/on + bus で名詞句を形成し、乗車している人たちを意味するもの

---

\* 福岡大学人文学部教授

3. “主語＋動詞＋in/on＋bus” という構文で、人が座っている状態を表すもの
4. “主語＋動詞＋in/on＋bus” という構文で、車内で人が何かすることを表すもの
5. 車内で人が時間を過ごすことを表すもの
6. バスに乗ってある場所へ移動することを表すもの
7. バスに乗ってある場所を通り過ぎることを表すもの
8. 乗車することを表すもの
9. 物を置く、物が在るということを表すもの

必要に応じて状況がわかるように例文に大意や説明をつけるが、完全なる訳ではないこと、バスとの関連性がわかるようにするため不自然な日本語になっている部分もあることをあらかじめおことわりしておきたい。では次の節から実例を検討してゆく。上記のグループ番号を節の番号とする。

## 1. “主語＋be 動詞＋in/on＋bus” という構文で、人が乗車している状態を表すもの

人が主語になっており、be 動詞が用いられているものを比較する。まず in の例を挙げる。

- (1) I've never *been in a bus* with Paul's dad. (ポールのお父さんとバスに乗ったことはこれまで一度もなかった。) (KR2)
- (2) In New York in 1983 he got there in three hours 54 minutes his fastest marathon. And I was the last man off of 17,000 because I *was still in the bus* when they all went to the start. (筆者注：マラソンのお話である。状況：私は参加者1,7000人のうちの最後の一人だった。皆がス

タートラインに向かった時私はまだバスの中にいたからだ。) (AJY)

次に on の例を挙げる。

- (3) We *were* **on a bus**, on our way to a concert, when we were hit by a truck. (私たちはバスに乗っていた。コンサートに行くところだった。突然トラックがぶつかってきた。) (A7P)
- (4) She had *been* **on a bus** once and had seen Simon in a posh car (彼女はバスに乗っていて、Simon が洒落た車に乗っているのを見た。) (ACB)
- (5) She had never used an iron nor threaded a needle, *been* **on a bus** nor cooked a meal for other people (彼女はアイロンがけをしたことも、裁縫をしたことも、バスに乗っ (て買い物に行っ) たことも、食事を作ったこともなかった。誰かのために。) (EDN)
- (6) Williams the defendant *was* **on a bus** when he witnessed what lie believed to be an attack by a large man on another, smaller youth. (被告人 Williams はバスに乗っていた。そして大男が自分より小さい若い男を襲ったとされる場面を目撃した。) (GVR)
- (7) the bloke you loved *was* **on a bus** going in the opposite direction (あなたが愛する男はバスに乗って反対方向に向かっていた。) (GVT)
- (8) *Was* Alfred Glynn **on a bus** which arrived here at around nine this morning? (Alfred Glynn は今朝 9 時到着のバスに乗っていたのか。) (GWB)
- (9) But his first recorded journey, crying all the way, aged two, *was* with his sister Cecilia, **on a bus** ... travelling the four miles from the Welsh heartland of Pontrhydyfen (2 歳の彼の最初の旅はずっと泣きどおして

姉の Cecilia と バスに揺られていた。）(CL2)

(10) he had, at last, *been on a bus* in Brighton. (彼は最終的には Brighton で バスに乗っていた。) (HNK)

(1)(2) と (3) - (10) を比較すると、(1) と (3) - (10) はある人物が単にバスに乗っていることを表現しており in と on とで違いは感じられないが、(2) では自分以外の人は皆バスの外にいてマラソンのスタートラインに向かっているのに自分だけがまだバスの中にいることが描写されている。ただ単にバスに乗車しているということだけでなく、バスの外と内が強く対比されて描かれている。おそらくここでは on よりも in の方が効果的であろう。バスの内ということが強く意識されているため内部を表す in が用いられたのだと思われる。

## 2. “名詞句+in/on+bus” で乗車している人たちを意味するもの

In の例は 2 例 ((11)(12))、on の例は 5 例 ((13) - (17)) ある。

(11) the woman in the bus saw his picture in this evening's paper, told the local bobby (そのバスに乗り合わせた女性が夕刊でその男の顔を見ており、その土地の警官に通報した。) (GUD)

(12) a number of people in the bus will go down with a cold and will likely blame the poor soul who was suffering on his journey home. (そのバスに乗り合わせた多くの人が風邪を引き、帰宅の途にあったかわいそうな風邪引きさんが責められることになるのであろう。) (B1R)

(13) an IRA bomb killed eight soldiers on a bus at nearby Ballygawley. (IRA の爆弾は Ballygawley 近郊でバスに乗っていた 8 人の兵士を殺し

た。) (HJ 3)

- (14) a group of Arabs attacked passengers on a bus in the Tel Aviv district.  
(アラブ人の一団がテルアビブでバスの乗客を襲撃した。) (HL2)
- (15) The offences involved stealing a purse from an 82-year-old holiday maker on a bus in Southport and a wallet from an man aged 84 on a bus in Moreton, Wirral. (その犯罪には Southport でバスに乗り合わせた 82 歳の女性の財布を盗んだことと Moreton でバスに乗り合わせた 84 歳の男性の財布を盗んだことが含まれる。) (K47)
- (16) But a huge cigarette advertisement is brought to the school's 12,000 pupils at closing time on a bus. (その大きなタバコの広告は、バスで通う (バスに乗っている) その学校の 12,000 人の生徒が目にする。) (K4E)
- (17) a woman on a bus *describing* the way a mutual friend has been behaving (友人がどんな態度をとっていたか説明していたバスに乗り合わせた女性) (F9V)

名詞句 + in/on + bus の部分は乗車している人を表し、in と on とで違いは見出せないが、前後の文脈まで考慮に入れると、(12) は少し空間を感じさせるものとなっている。乗客の一人が風邪を引いており、次々と風邪が広がってゆき、最終的には多くの人が風邪を引いてしまうという文脈である。閉じた空間で風邪が蔓延していったというニュアンスが感じ取れる。そのことを表現するために in が選ばれたのではなかろうか。

### 3. “主語＋動詞＋in/on＋bus” という構文で、人が座っている状態を表すもの

In の例を挙げる。

- (18) Nellie was beginning to take an interest, and was even enjoying herself as they **sat in the bus**. (Nellie は興味を持ち始め、バスに座っていたながらも楽しみを見つけていた。)(ATE)
- (19) As I **sat in the bus** on my way, strange things began to happen to me. (私はバスに座っていた。不思議なことが起こり始めた。)(HH3)
- (20) the concentration required to hear mentally an orchestral passage while **seated in a bus** (集中力を高めるにはバスに座っていてオーケストラ曲の一節を思い出すことだった。)(GVS)
- (21) they **settled in the bus** (H9G)
- (22) And [they] **lay in the bus** (KE1)

On a bus の用例はなかったので on the bus で検索すると次の用例が見つかった。

- (23) she **sat on the bus** (CCM)

主語 + sit の用例が他に 2 つあった。A chair に座る場合でも in も on も用いられるので、bus というよりも bus の座席をどう見るかが使い分けを決定していると思われる。座席の上に腰掛けるように、つまり座席に接触するようにイメージすれば on が用いられ、座席に深く体を入れるように、体が座席の中に埋まるようにイメージすれば in が用いられると言えよう。従って座ると言うことが表現されている例において in + bus と on + bus にそれ以上の違いはないと言えよう。

#### 4. “主語＋動詞＋in/on＋bus” という構文で、車内で人が何かすることを表すもの

まず in の例を挙げる。

- (24) A friend was *speaking* Spanish **in a bus** and someone told him to shut up (バスの中で友人がスペイン語でしゃべっていると誰かが「黙れ」と言った。) (K1P)
- (25) I saw the *drivers holding a conference* **in a bus** (バスの中でドライバーたちが話し合っているのを見た。) (CD9)
- (26) I could *have my classes* **in the bus** (バスの中で授業をすることもできる。) (HDM)
- (27) **In the bus** going to the airport she *looked around her* to see what sort of people went to Rome in April. (空港行きのバスの中で彼女は見渡した。4月にローマに行く人ってどんな人なんだろうと。) (HA4)
- (28) You may have *nodded off* **in the bus** on your way to a dusty ruin (バスに乗っていて居眠りをしたかもしれない。) (BNP)
- (29) what are you *doing* when, **in the bus** (バスに乗っている時、何をしていますか。) (HDJ)
- (30) it becomes plain that the people who *caught a cold* **in the bus** were ill before they ever stepped onto it (バスの中で風邪を引いた人たちはバスに乗る前から体調がすぐれなかったことが判明した。) (B1R)
- (31) She wouldn't *talk* like that **in the bus** (バスの中では彼女はそんなことは言わないだろう。) (CA3)
- (32) Well I've *had* cases **in the bus** you know. Babies in the bus has been born. (バスに乗っていて一大事件を経験したことがある。出産したのだ。) (HEL)

(24) は乗客がしゃべっているという状況、(25) はドライバー同士がしゃべっている、(26) はスクールバスの中で授業をしているということなので、この3例は車内で人がしゃべっているという状況を表す。(27) はある乗客が他の乗客を見る、(28) は居眠りをするという一般的な(日常的に見られる)動作が表現されている。(29) の質問も本を読むとか音楽を聞くとか普通の行為を意図している。これに対し、(30) (31) は少し状況が違ってくる。(30) は先に見た(例(12))、バスの中で風邪が蔓延していくという例文と同じ文書からの出典となっている。同じようにバスという閉じられた空間が表現されている。(31) の先行文脈はある男性との性的な関係について彼女がしゃべっているというものである。これを受けて、このような話題をバスの中で彼女はしないでだろうと言っている。(32) の出産するといったことは稀なことで非常に避けたいことである。従ってこの2例では「他の空間ならいざ知らずこんな空間ではしないでだろう、したくない」という意識が強く出ていえる。他の空間と対比してバスという空間を表現している。

On の例を見てみる。

- (33) casual *conversation* with a stranger **on a bus** (バスの中で知らない人とたわいのない話をする) (H10)
- (34) it's often difficult, **on a bus** or a train, to assess how loudly *you are talking* (バスの中でしゃべっている声がどれほど大きいかは自分ではわからない。) (HWM)
- (35) I can record some *conversation* **on a bus** (バスの中で耳にした会話を記録しようか) (KE3)
- (36) try transcribing a conversation you've *overheard* **on a bus** (バスの中で聞いた会話を記録してごらんなさい) (CG3)
- (37) LAST week **on a bus** I saw a young mother spank her little boy when



he said the F-word. (先週バスの中で若いお母さんが汚い言葉遣いをする子供を引っ叩いているのを見た。) (CBC)

(38) I *met* a, a daughter of a friend **on a bus**, er going into London. (バスの中で友人の娘さんに会った。) (HM4)

(39) one might have expected to *read* **on a bus** going from New York to Philadelphia. (ニューヨーク発フィラデルフィア行きのバスの中では本を読むのがよかったのかもしれない。) (K55)

(40) I got caught *writing* **on a bus** (バスの中で書きものをしているところを見られた。) (EA4)

(41) *the fight broke out* **on a bus**. (バスの中で喧嘩がおこった。) (HL2)

(42) he ... had *encountered* absolutely appalling behaviour **on a bus** (彼はバスの車内でものすごく恐ろしい振舞い (筆者注：暴言・恫喝を指す) に遭遇した。) (K4W)

(43) two Palestinian teenagers were each sentenced to 30 years in prison for *stabbing a Jewish student* to death **on a bus** in Tel Aviv (2人の十代のパレスチナ人が30年の服役を言いわたされた。テルアビブでバスの車内でユダヤ人学生を刺し殺した罪である。) (HL5)

(33) – (36) は人が会話する、人が会話しているのを聞く、(37) は他の乗客を見る、(38) は人と会う、(39) (40) は読み書きする、というごく日常的な動作が表現されている。(41) の喧嘩も生じる頻度は高くないものの、あり得ることである。問題は (42) (43) である。非日常的で由由しきことである。同じように由由しいことが表現されていた in の例 (31) (32) と比べてみよう。(31) (32) は他の空間なら普通にあり得ることである。しかし (42) (43) は別の空間で起こっても困ることである。従って (42) (43) に、(31) (32) に見られるような「他の空間ならいざ知らずバスという空間では極めて避けたい」という

空間対比はない。ここでは in と on の共通部分、相違部分を明らかにできたと思う。

## 5. 車内で人が時間を過ごすことを表すもの

In に 3 例、on に 2 例ある。

(44) you might *spend 24 hours* **in the bus**. (CAD)

(45) He recorded: *Spent last night* sleeping on a stretcher **in the bus** (CA  
8)

(46) It's no' far. She lives in Darrowby. *Three hours* **in the bus**. (G3S)

(47) Just *spent 24 hours* **on a bus** (G1X)

(48) 300 girls ... will *spend time* over the next two weeks **on a bus** (K4D)

In と on とで違いはない。

## 6. バスに乗ってある場所へ移動することを表すもの

まず in の例を挙げる。

(49) I managed to get a permit to *travel* from Parma **in a bus** (G3B)

(50) it was usually easier to send me to bid with Uncle Bill than to *take* me  
**in the bus** to my Uncle Geordie at Dalkeith. (BN1)

(51) And granny Jean is going to *take* Martin home **in the bus**. (KB8)

(52) one of the parents or somebody who could *take* the children, er, periodically **in the bus** to visit the hospital (KB8)

(53) they *went* home **in the bus** the long way round by the main road (B0

B)

(54) they *went* **in the bus** (KE1)

動詞に (49) では *travel* (旅行する)、(50) – (52) では *take* (誰かがある場所へ連れて行く)、(53) (54) では *went* (ある場所へ行った) が用いられている。(49) と同様の例は *on* の次の例文 (55) に見られる。

(55) I even *travelled to* the disco **on a bus** supplied by the hotel. (HJ4)

*Take* が用いられた例文は検討対象例文にはなかったのでコーパス全体から “on the bus” を検索し次のような例文を見つけた。

(56) He recalled once buying a foal and *taking* it home **on the bus!** (BPK)

*Went* が用いられた例文も検討対象例文にはなかったのでコーパス全体から “on the bus” を検索し次のような例文を発見した。

(57) she *went home* **on the bus** (EFP)

(58) I frequently *went* **on the bus** to Harpenden. (FYX)

*In* と *on* とで同じ動詞 *travel*, *take*, *go* が用いられた例が見られ、差異はないと言える。では検討対象の “on a bus” の例文を挙げる。

(59) that[55p]is not going to *get them very far* **on a bus.** (K4W)

(60) you could *get into town* **on a bus** and then share a taxi back (B3G)

(61) they're *coming back* from nursery ... **on a bus** (KB8)

(62) the furthest I had ever been in my pre-television life was *a day trip* to Loch Lomond **on a bus**. (BN6)

(63) we decided to do this excursion as *a day trip* **on a bus** (HPP)

(59) - (61) は動詞 *get*, *come* で移動することが表現されている。In の例には同じ動詞を用いた例はないが、on の例の連れて行く ((59))、到着する ((60))、戻る ((61)) ということは状況としては in の例の連れて行く ((50) - (52))、ある場所へ行く ((49)(54))、帰宅する ((53)) ということと特に異なることはない移動を表している。(62)(63) は *a trip + on a bus* という表現である。In + bus の例でそれに相当するものはないが、BNC 全体で検索すると次のような “trip + in + 乗り物” の例がある。

(64) the trip in a flat-bottomed boat (ARB)

(65) the curving trip in a white car (FP0)

(66) her first trip in a helicopter (ASV)

(67) a trip in an air taxi or a glider (AMD)

In の例 (49) に *travel* という動詞を用いた例があることも考えると、bus の例が BNC に無いだけで *a trip in a bus* という表現もありうるかと判断するのが妥当であろう。以上のことから、このグループにおいて in と on の差異はないと結論づけてよからう。

## 7. バスに乗ってある場所を通り過ぎることを表すもの

In の例を挙げる。

(68) he'd *passed it* so often **in the bus**, but now could barely see it. (彼はバ

スに乗ってその場所をよく通り過ぎた。でも景色はほとんど目に入っていない。 (A08)

(69) *Passing Barvas Lodge in the bus* I saw one of the men. (バスに乗って Barvas Lodge を通り過ぎる時、その男性陣の一人を見た。) (B1N)

“On a bus” の用例には無かったので “on the bus” で検索し、次のような用例を見つけた。

(70) **On the bus** home she *passed* ... the new industrial estate. (帰宅途中バスに乗って彼女は新しい工業団地の所を通り過ぎた。) (A0R)

In と on の差異は認められない。

## 8. 乗車することを表すもの

In の例を挙げる。

(71) the bus came, quickly **got in the bus**, quickly, the bus went quickly  
(CLH)

(72) *Back in the bus*, hot winds blew through the windows. (FEM)

バスに乗ったということ、バスに戻ってきたということが表現されている。“On a bus” の用例には無かったので “on the bus” で検索し次のような用例を見つけた。

(73) I **got on the bus** at the terminus (AC6)

(74) They **got on the bus** ... and sat in their own special places. (AC7)

(75) you got *back on the bus*. (FBL)

In と on の差異は感じられない。蛇足になるが、学校文法では「バスに乗り込むのは get on、タクシーや乗用車に乗るのは get in」と教えるが、(71) のように get in が用いられているのは興味深い。

## 9. 物を置く、物が在るということを表すもの

まず in の用例を挙げる。

(76) *Hidden in a bus* and estimated to contain about half a ton of dynamite, the bomb ripped a wall of the nine-storey DAS building and badly damaged nearby buildings. (爆弾はバス内部に隠されており 0.5 トンのダイナマイトを含んでいたと思われる。9 回建ての DAS ビルの壁を引き剥がし近接するビルにも深刻な被害を与えた。) (A8X)

(77) The DAR must *keep all their ammo in the bus* (DAR はあらゆる防衛手段をバスに常時搭載している。) (CH0)

(76) は爆弾がバスのどこかに隠されていたということである。隠されていたのであるから乗客の目の届かない箇所にあるわけで、座席の座る部分などではなく、構造の内部を強く意識させる。従って on では表現が不適切になるであろう。(77) も爆弾のような防衛手段をバスの中に乗せておくということであるから、常識的に考えると乗客の目に触れる箇所では具合が悪い。従って見えない所に入れておくであろうから in の使用が適切になる。これに対し on は次のような用例で用いられている。

(78) a package of obscene printed matter *was found on a bus* (猥褻な印刷

物がバスの車内で発見された) (AJU)

(79) Tamako Handa, *left her handbag ... on a bus* during a sight-seeing trip to Derry at the weekend. (HJ3)

(80) she *left the envelope on a bus*. (HTR)

(78) は物が車内で発見された、(79) (80) は物を車内に置き忘れたことが表現されている。印刷物、ハンドバッグ、封筒であるから通常は座席の上ということが想像される。従って座席の上を強く意識させるため on が用いられたのであろう。

## 10. In 特有表現

On の例はすべて挙げ切ってしまった。In の残る用例を挙げる。

(81) I was of a mind to ... go *live in a bus* and drive around the country (CHB)

(82) Jon is twenty-five and *lives in a bus* in Stoke-Ash a village near Wetheringsett. (HDB)

(83) after two years of *living in the bus* outside his parents' house (C8A)

(84) you could either have it *outside or in the bus*. (KCT)

(81) - (83) はバスを居住空間にするということを表現するものである。「住む」ということはある空間・範囲を表すことになるので (live in a town, live in a city の表現に見られるように) in が選ばれたのであろう。(84) はバスの外 (outside) と内 (inside) が対照されているから内側ということが強く意識されるので in が選ばれたと考えられる。

## 11. 結論

これまでの議論をまとめると次のようになる。

In が用いられるのは

- ①バスの中という空間がバスの外という空間と比べて強く意識された時
- ②バスの中という空間がその他の空間と比べて強く意識された時  
（「他の空間ならまだしも、バスという空間で」という気持ちが表現される。）
- ③バスの内側、目に触れない箇所（構造の内部）が強く意識される時

であり、そうではないときには in と on とで違いはない。

## 注

1. British National Corpus World Edition は、1億語のイギリス英語の書き言葉（90%）と話し言葉（10%）の品詞標識付きコーパスであり、大半は1990年代のテキストである。なお、コンコーダンス・ソフトは CasualConc Ver. 2.0（今尾康裕氏による）を用いた。また、引用例への斜字、太字、四角での囲みなどの施しは筆者によるものである。

## 主要参考文献

- Brugman, Claudia. 1988. *The Story of 'Over': Polysemy, Semantics, and the Structure of the Lexicon*. New York: Garland.
- Coventry, Kenny R. and Simon C. Garrod. 2004. *Saying, Seeing and Acting: The Psycho-*



- logical Semantics of Spatial Prepositions*. Hove and New York : Psychology Press.
- Garrod, Simon, Gillian Ferrier, and Siobhan Campbell. 1999. “*In* and *on* : Investigating the Functional Geometry of Spatial Prepositiosn.” *Cognition* 72 : 167–189.
- Herskovits, Annette. 1986. *Language and Spatial Cognition : An Interdisciplinary Study of the Prepositions in English*. Cambridge : Cambridge University Press.
- 河上誓作 編著. 1996. 『認知言語学の基礎』東京：研究社出版.
- Lakoff, George. 1987. *Women, Fire, and Dangerous Things : What Categories Reveal about the Mind*. Chicago : University of Chicago Press. [ジヨージ・レイコフ (池上嘉彦, 河上誓作 ほか訳). 1993. 『認知意味論』東京：紀伊国屋書店.]
- Tyler, Andrea and Vyvyan Evans. 2003. *The Semantics of English Prepositions : Spatial Scenes, Embodied Meaning and Cognition*. Cambridge : Cambridge University Press.